

特
集
号
○
ニ
○
2014
1111



すずしん



DIY主義で **キーワードは「ツナガリ」** 明るい！人口減少社会！！

スズキの考えと取り組み①

人口減少・高齢化を前提とした社会の仕組み作り！

国会議員政策秘書時代から人口問題に関心があり、県議会でも2年以上にわたり採り上げてきました。少子化対策を強化しても少なくとも数十年間は人口減少が続くことから、人口減少を止めるための政策よりも、人口減少や高齢化が続くことを前提とした社会の仕組み作りが急務です。



鈴木直道・夕張市長と



ゆうばり再生市民会議の皆さんと

具体的には、県独自の将来人口推計や、人口減少社会を前向きに捉えた長期ビジョンの策定等を私は主張してきました。こうした提案に対し、県は昨年10月に将来人口推計を公表し、本年度は人口減少対策に関する有識者会議等を立ち上げました。また、県議会も本年度、人口減少対策特別委員会を設置し、私は所属委員として議論や調査を行なっています。

これまでの少子化対策等が十分な効果をあげてこなかった以上、従来の発想に囚われない政策が不可欠です。私は、人口減少・高齢化・財政難という課題に正に直面している北海道夕張市の取り組みを参考にすべきと考え、職員派遣を県に提案しています。先日、夕張市を視察してきましたが、鈴木直道市長を中心に市民の皆さんが自ら地域のことを考え、人口減少や高齢化を前提としたまちづくりを進めています。静岡県でも全県で同様の取り組みを進めるべきです。

スズキの考えと取り組み②

子供達を守るためにも危険ドラッグの無い社会！

覚せい剤に似た作用をもち、全国的に使用されている「脱法ドラッグ」は、全国的に使用されている。脱法ドラッグの使用で事件や事故も多発している。県議会では、脱法ドラッグの対策強化の一環として、県内の不動産業界と連携し、不動産の契約相手に脱法ドラッグを販売している店を判明した場合に、

県、不動産業

「脱法ドラッグ」販売判明



2回目の販売自粛要請 (平成26年8月1日)

私の地元に移転してきた危険ドラッグ店に対し、地域の皆さんと連携し、県の協力も得て、危険ドラッグに関するチラシの配布やのぼり旗の設置を行なうと共に、2度にわたり販売自粛を要請してきました。

しかし、違法ではない危険ドラッグを無くすためには、地域の取り組みと共に行政による積極的な規制が不可欠です。私は今年の6月議会で条例制定を主張。県は8月に危険ドラッグ店排除を目指す全国初の協定を宅建協会と締結。そして9月議会では、川勝知事がついに危険ドラッグ規制条例の制定を表明しました。引き続き危険ドラッグの無い社会を目指します！

私の質問を報じた静岡新聞記事 (平成26年6月28日)

スズキの考えと取り組み③

高齢者が活躍!コミュニティ・スクールで楽しい地域!

東日本大震災での教訓の一つが、避難所の円滑な設置や運営には、日頃から学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を作っておくことが不可欠であることです。また、静岡県は健康寿命日本一ですが、ボランティア活動への参加が健康に良いことが調査で明らかになっています。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度:CS)は、人や地域を平時には「健康」にし非常時には「強く」する仕組みとも言うべきものです。習志野市立秋津小学校では、日頃から多くの高齢者が空き教室を拠点に様々なサークルやボランティアの活動を行っており、子供達とも仲良くなっています。



CSマスターで元秋津小PTA会長の岸裕司さんと秋津小にて

昨年の一般質問で、CS後進県である静岡県でも積極的に導入すべきと主張しました。その結果、県は本年度からCS等に関する検討委員会を立ち上げました。また私の地元でもCS導入に向けた話し合いが進んでいます。CSの取り組みは懐かしい学校、そして、懐かしい地域を作ることとも言われます。高齢者の皆さんの出番です!

スズキの考えと取り組み④

地域外交で海外の活力を静岡に取り込む!



シンガポールのボーイスカウト関係者と

人口減少が今後数十年は続く以上、海外との交流強化せずに日本経済や企業が生き残ることは一層難しくなるでしょう。私は、親日的で経済成長著しい東南アジアの活力を静岡に取り込むために、県シンガポール事務所の機能強化を主張してきました。その結果、シンガポール事務所の人員は倍増され、タイ等との交流が加速しています。

私もシンガポール、台湾、モンゴル等との議員外交を続けてきました。この度、静岡とシンガポールのボーイスカウトを橋渡しすることができ、今年の12月にはシンガポール側が静岡県を訪れ、県内の子供達や川勝知事らと交流します。

スズキの考えと取り組み⑤

静岡の農林水産業を成長産業にする!

世界的には人口増加や生活水準の向上が続いており、静岡県の高品質な農林水産物の需要は一層高まるでしょう。例えば、漢方薬企業のツムラは原料の8割を中国に依存していますが、今後は国内での調達量を増やします。付加価値の高い原料生薬の生産は大変有望な分野です。また、資源管理が厳しくなったマグロについては、完全な陸上養殖が静岡県内で研究されていました。林業でもCLT(直交集成材)が注目されています。こうした可能性を秘めた農林水産業が成長産業になるよう県は更に応援すべきです。



夕張ツムラの皆さんと

DIY主義で、人を、地域を、ツナグ

人口が多い国や地域が必ずしも幸せとは限りません。逆に、人口は少なくても元気な国や地域があります。その違いは「ツナガリ」です。これまでのように行政に任せきりにせず、自分達の地域の問題は出来る限り自分達で協力して取り組み解決する「DIY主義」の実践により、人や地域は再びツナガリ、人口は減っても明るい社会を実現出来ると確信しています。夕張市は正にその先駆けです。「DIY主義」で明るく楽しい静岡県を、共に目指しましょう!



川勝知事、セッシャー1と共に元気な静岡!

お読み下さりありがとうございます。『すずしん』に関するお問い合わせは…

静岡県議会議員すずきさとる事務所 〒422-8041 静岡市駿河区中田1-11-19
電話 054-281-3715 FAX 054-281-3716 E-mail: mail@suzukisatoru.net
開所時間: 月・水・金(休祝日除く) 9時~17時 ※南幹線沿いにあります!



すずきさとるの
すずしんラジオ

第2・第4金曜日
午後3時10分~
FM・Hi!で放送中!

76.9
FM・Hi!

● 地元で根ざした事務所を目指しています。県議会について話を聞きたい、どこに相談していいのかわからないという方、遠慮なくご連絡下さい! すずきさとる